

令和7年度進行管理 戦略点検シート

◎基本政策 2 健康で安心な生活基盤の整備

主要課題	No. 16	在宅医療・介護連携の推進
------	--------	--------------

● 4年後の目指す姿・計画期間の方向性 ●

主要課題の戦略シートで設定している「4年後の目指す姿」と「計画期間の方向性」を転記しています。

4年後の目指す姿	医療機関や介護サービス事業所等、在宅療養を支える多職種の連携体制が強化され、医療や介護を必要とする高齢者等が、在宅においても、訪問診療や訪問看護、介護サービス、生活支援等必要なサービスを受けている。
計画期間の方向性	○在宅療養を支える多職種による連携体制の強化 在宅療養支援について、福祉的なより広い視点から、顔の見える多職種の連携体制を構築し、在宅で医療や介護を必要とする区民に対し、切れ目なく適切にサービスを提供できる体制の充実を図ります。 ○地域医療の推進 区民が適切に医療・介護サービスを利用できるよう、かかりつけ医の周知・普及等、様々な情報提供に努めるとともに、看取りまでを見据えた在宅医療の推進等に向け、区の実情や国・都の動向を踏まえ、地域の医療・介護関係者の連携を強化していきます。

事業費（令和6年度） 上段：実績 下段：当初予算

1 どのような事業で何をしたか（実績）

戦略シートの課題の解決手段として紐づけた計画事業について、「何をしたか」「何がどうなったか」を記しています。

事業番号	事業名称	所管課	事業の持つ役割							事業費(千円)
69	地域医療連携事業	高齢福祉課・健康推進課	地域医療連携の適切な仕組みをつくるとともに、地域の医療関係者と介護サービス事業者等の効果的な連携を促進する。							14,042千円 (14,844千円)
			主な取組実績		単位	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
	① 文京かかりつけマップの配布数	部	13,000	13,000	13,000					
	② かかりつけ医・在宅療養相談窓口への相談件数	件	171	103	64					
	③ 多職種ネットワークシステムのユーザー登録数	人	978	1,167	1,368					
	④ 地域医療連携推進協議会・検討部会	回	4	5	5					
	R5(2023)	令和5年度地域医療連携推進協議会・検討部会開催数は、地域医療連携推進協議会1回、高齢者・障害者口腔保健医療検討部会1回、在宅医療検討部会3回で、計5回開催しています。								
R6(2024)	6年度地域医療連携推進協議会・検討部会開催数は、地域医療連携推進協議会1回、高齢者・障害者口腔保健医療検討部会1回、在宅医療検討部会3回の計5回開催しました。協議会・検討部会以外に、在宅医療検討部会の下に設置したワーキンググループを3回開催しています。									
70	在宅療養者等歯科訪問健診・予防相談指導事業	健康推進課	かかりつけ歯科医の定着を促進し、在宅療養者等の健康の保持・増進を図る。							9,872千円 (9,792千円)
			主な取組実績		単位	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
	① 在宅療養者等歯科訪問健診・予防相談指導事業	人	268	336	279					
71	在宅療養支援窓口事業	高齢福祉課	地域の医療関係者と介護サービス事業者等の効果的な連携を促進する。							4,800千円 (4,800千円)
			主な取組実績		単位	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
	① 高齢者あんしん相談センターの在宅療養支援相談件数	件	1,785	1,950	1,759					

●特記事項（実績の補足）

在宅療養支援相談については、高齢者あんしん相談センターにおいて、一般の相談の中でも対応している状況があり、件数としては変動がありますが、適切に相談対応しております。

在宅療養者等歯科訪問健診・予防相談指導事業については、５年度に周知先を拡大したことにより実績が増加しましたが、６年度は周知が定着したことで例年並みの実績となりました。

2 社会ではどのような動きがあったか (社会環境等の変化)		人口の増減や、国や都の動きなど、主要課題の背景に関して「何があったか」「今後予想される」等の社会の変化を捉えています。
チェック	チェック項目	
無	主要課題に関連する法改正があった（今後、法改正がある）	
有	主要課題に影響を及ぼす変化等があった（今後、変化等の可能性がある）	
団塊の世代が75歳以上となる2025年を迎え、今後、医療や介護の両方を必要とする高齢者数が増加することが見込まれます。医療や介護が必要となった場合でも、住み慣れた自宅等で最後まで自分らしい暮らしを続けることができるよう、在宅生活を支える体制づくりの推進が必要となります。		

3 成果や課題は何か（点検・分析）	1と2に基づき、計画期間の方向性ごとに「課題解決にどのような成果があったか」「成果が出ない要因は何か」「新たな課題が生じてないか」などを点検・分析します。
-------------------	---

○在宅療養を支える多職種による連携体制の強化

看取りまでを見据えて高齢者が在宅で安心して生活し続けることができるよう、医療・介護関係者等の専門職による多職種の緊密な関係づくりを推進すること等を目的に、令和6年10月に東京大学グローバルナースングリサーチセンターと連携協定を締結しました。今後、本協定を基に様々な在宅医療介護連携事業を実施し、多職種の連携をさらに深めるとともに、区民の健康やケアに関する知識や技術の向上を図ります。

また、多職種連携の取組を推進するため、在宅医療検討部会の下に、学識経験者、医療、介護、障害福祉、地域支援者等が参加するワーキンググループを設置し、3回開催しました。ワーキンググループでは、「2040年に向けた在宅医療・介護連携の共通の方向性」、「共通の方向性を踏まえた5年後の具体的目標」等について意見を交わしました。

なお、多職種ネットワークシステムのユーザー登録数についても、活用事例を用いた研修などを通じて医療介護関係者に周知を図ったこと等により着実に増加しているため、引き続き関係者向け周知啓発に努めます。

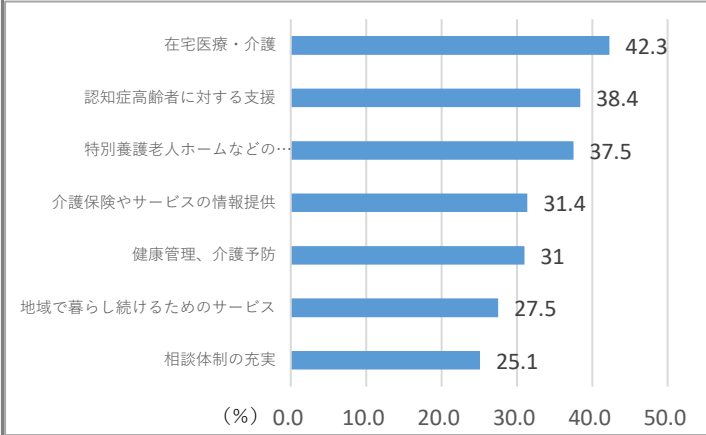
○地域医療の推進

地域医療連携推進協議会や各部会において、医療機関それぞれの状況を共有できました。医療現場における課題について、引き続き確認しあい、連携強化を目指します。

また、地域における在宅医療の機能（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り）の整備に向けて、地区医師会より推薦を受けた2医療機関が、「在宅療養に積極的役割を担う医療機関」として東京都に指定されました。今後、当該医療機関と連携して、文京区における必要な在宅療養機能の確保及び充実に努めます。

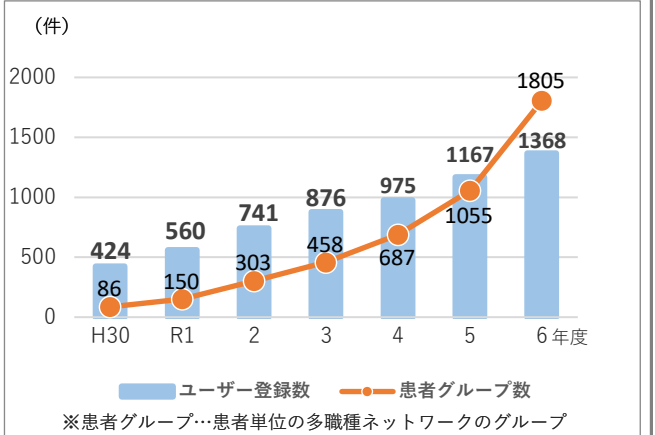
「文京かかりつけマップ」の改訂作業を行い、地域の医療機関等の情報をアップデートし、配布することにより、区民等に対して区内の医療機関や薬局の情報が幅広く周知されています。

●今後区に力を入れてほしいこと



資料:令和4年度高齢者等実態調査

●多職種ネットワークシステムの登録数と患者グループ数の推移



※患者グループ…患者単位の多職種ネットワークのグループ

【SDGsの視点】	
3 すべての人に健康と福祉を 	看取りまでを見据えた在宅医療・介護連携の体制構築に向けて、ICTの活用などにより多職種間の連携強化を図るとともにかかりつけマップの改訂を行い関係機関に配付し、誰もが安心して医療と福祉を受けられる環境整備に寄与しました。 また、事業の周知先拡大が定着し、在宅療養者等歯科訪問健診・予防相談指導事業の利用件数は、例年並みとなりました。 さらに、地域医療連携推進協議会等を開催し、区民が地域で安心して受けられる医療体制を検討しました。
17 パートナーシップで目標を達成しよう 	東京大学グローバルナースングリサーチセンターと連携協定を締結し、看護職・介護職を中心に多職種連携を推進することができました。 また、在宅療養者等歯科訪問健診・予防相談指導事業の周知については、歯科医療機関に加え、訪問診療実施医療機関、在宅患者訪問薬剤管理指導を行っている薬局、高齢者あんしん相談センター、文京区社会福祉協議会の協力を得て実施できました。

4 今後どのように進めていくか（展開）	3を踏まえ、「何の対応が必要か」「何をどのようにしていくか」など、今後の戦略としての進め方を記しています。
在宅医療・介護連携の推進については、地域医療連携推進協議会や各部会において、医療現場での取組をしっかりと支援するとともに、今後も区民に切れ目のない医療を確保するための検討を行っていきます。 また、東京大学高齢社会総合研究機構との連携協定のもと、取りまとめた「文京区における24時間在宅ケアビジョン」及び東京大学グローバルナースングリサーチセンターとの連携協定に基づき、在宅医療検討部会等での議論を通じ、多職種間の顔の見える関係づくりを推進し、看取りまでを見据えた切れ目のない在宅療養体制の構築を目指します。	

●デジタル田園都市構想総合戦略重要業績評価指標(KPI)

指標	単位	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2027) (目標)
多職種ネットワークシステムのユーザー登録数	件	1,167	1,368				1,700
単年度実績		1,167	201				